

# 平泉の世界遺産登録と浄土思想

毛越寺貫主 藤里明久

## 平 泉

- 初代 藤原<sup>きよひら</sup>清衡（中尊寺を造営）
- 二代 藤原<sup>もとひら</sup>基衡（毛越寺を造営）
- 三代 藤原<sup>ひでひら</sup>秀衡（無量光院を造営 源義経をかくまう）
- 四代 藤原<sup>やすひら</sup>泰衡

平安時代後期に奥州に壮麗な仏教文化を築き、約百年に亘って栄えた。  
文治5年（1189）藤原氏滅亡  
のち葛西氏（鎌倉時代以降）や伊達氏（江戸時代）が平泉を治める

中尊寺、毛越寺（もうつうじ）  
両寺ともに嘉祥3年（850）に慈覚大師円仁によって開山された。  
両寺ともに天台宗の寺院で、総本山は比叡山延暦寺である。

慈覚大師円仁  
下野国（栃木県）の生まれ 最澄の弟子  
延暦寺第三代座主 日本最初の大師号  
入唐（45歳）838年～847年 ・五台山、長安巡礼 ・会昌の破仏

「入唐求法巡礼行記」・・・世界三大旅行記の一つ  
大唐西域記（唐代 玄奘三蔵） 入唐求法巡礼行記（唐代） 東方見聞録（元代 マルコポーロ）

五台山巡礼（山西省北東部）・・・・文殊菩薩の霊地、清涼山  
三大霊地の一つ 峨嵋山（四川省、普賢菩薩） 普陀山（浙江省、観音菩薩）  
念仏三昧（常行三昧）を伝える・・・日本の浄土思想の元になった

平泉の文化遺産の護持  
祭礼・行事を伝承することを通じて開山以来の信仰を護ってきた。  
それが引いては寺院の護持、文化財の護持につながった。  
つまり目に見えないもの、無形のものが支えてきたのが今日の有形の文化財である。

## 世界遺産（文化遺産、自然遺産、複合遺産）

世界各地の文化財や自然を、人類共有の財産として守ることが目的

登録には「顕著な普遍的価値（OUV Outstanding Universal Value）」の証明が必要

OUVの要件 ・完全性 ・真実性 ・適切な保護管理体制

世界文化遺産の評価基準（6基準）

(i) 人類の創造的才能を表す傑作であること

(ii) 建築や技術、記念碑的芸術、都市計画、景観設計の発展に関連し、ある期間にわたる、又は世界の文化圏における人類の価値観の重要な交流を示していること

(iii) 現存する、あるいはすでに生滅した文化的伝統や文明に関する独特な、あるいは少なくとも稀な証拠を示していること

(iv) 人類の歴史の重要な段階を物語る建築様式、建築的又は技術的な集合体の類型、景観に関する顕著な例であること

(v) あるひとつの文化（または複数の文化）を代表する伝統的居住形態、土地利用、若しくは海洋利用の顕著な例であること。又は、人類と環境との相互のかかわり合いを代表する顕著な例であること。特に抗しきれない変化によりその存続が危ぶまれているもの。

(vi) 顕著な普遍的価値を有する出来事、生きた伝統、思想、信仰、芸術作品、あるいは文学作品と直接または明白な関連があること

## 登録までの手順

暫定リスト登録 → 推薦書提出 → 諮問機関調査 → 諮問機関の勧告 → 世界遺産委員会の決議

\* 諮問機関の勧告（登録、情報照会、登録延期、不登録）

世界文化遺産：イコモス（ICOMOS 国際記念物・遺跡会議）

世界自然遺産：IUCN（国際自然保護連合）

## 登録までの経過

平成13年（2001）4月 世界文化遺産暫定リスト登載

平成18年（2006）12月 世界遺産委員会に推薦書を提出

（推薦書の内容）「浄土思想を基調とする文化的景観」

平成19年(2007)8月 イコモス現地調査  
平成20年(2008)5月 イコモス勧告(登録延期)  
平成20年(2008)7月 世界遺産委員会にて登録延期が正式決定

- ・平成20年9月から主題の再検討と新たな主題に基づく構成資産の見直しが行われた。
- ・主題は「浄土世界」を中心にし、構成資産を絞り込むことに決定。

平成22年(2010)1月18日 世界遺産委員会に推薦書を提出  
平成22年(2010)9月8～9日 イコモス現地調査  
平成23年(2011)5月7日 イコモス勧告(登録)  
平成23年(2011)6月26日 ユネスコ世界遺産委員会で登録が決定される

#### (世界文化遺産登録の内容)

今回の主題：「平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」

適用登録基準(ii、vi)

構成資産：5資産

[史跡] (特別)中尊寺 (特別)毛越寺 (特別)無量光院跡 (特別)観自在王院跡 金鶏山  
[名勝] (特別)毛越寺庭園 旧観自在王院庭園  
[建造物] 金色堂、経蔵、常行堂ほか

\*日本の世界文化遺産としては12番目の登録(自然遺産を含めると16番目)

(参考) ・全国の史跡名勝(令和2年現在)  
特別史跡(63件) 史跡(1783件)  
特別名勝(36件) 名勝(384件)

#### 平泉の浄土思想(平和思想)

浄土とは・・・浄仏国土、仏または菩薩の住む清浄な国土

あみだ  
(阿弥陀信仰)

一般に浄土というときは、阿弥陀如来の浄土すなわち極楽をさす場合が多い。

阿弥陀信仰とは、来世において安養世界である極楽への往生を願うこと

平安時代に阿弥陀信仰が生まれ、貴族社会で極楽浄土への往生を願う浄土教を信ずる者が多くなり、さらに平安後期から末法思想の影響で急激に広まった。

まっぼう  
末法(正法、像法、末法 各千年) 永承7年(1052)が末法第1年

仏菩薩にはそれぞれ固有の国土があり、それらも浄土という。

阿弥陀仏・・・極楽 薬師仏・・・浄瑠璃世界  
釈迦仏・・・霊鷲山、 弥勒菩薩・・・兜率天

## 観音菩薩……普陀落山

浄土には二つの意味がある。

一つには人々が往生を願う浄らかな仏の国土（あの世の浄土）のことであり、もう一つは今人々が生きているこの国土を浄らかにし仏の世界にする（この世の浄土）という意味である。

実は我々が住んでいるこの世界も釈迦仏の国土であり、娑婆世界という。

この世を生きている者を現実の苦しみから救うにはどうしたらよいか。

大乘経典「法華経」には人々を差別なく救うことが説かれている。

争いのない平和な世界を築くには、一人ひとりの心が変わってゆかなければならない。

大乘経典「維摩経」には「その心浄きに随って すなわち国土浄し」とある。

### 藤原清衡公の供養願文（一部）

次 二階 鐘楼 一字

二十鈎の洪鐘、一口を懸く

右、一音のおよぶ所、千界に限りなく、苦を抜き、樂を与え、普く皆平等なり。

官軍夷虜の、死する事、古来幾多にして、毛羽鱗介の、屠を受くる、過現無量なり。

精魂は、皆、他方の界に去って、朽骨、猶此の土の塵となる。

鐘声の地を動かす毎に、冤霊をして、浄刹に導かしめん。

供養願文（浄仏国土建設）……怨讐を離れ、捨てる（浄土の心） 平和へのメッセージ  
奥州藤原氏は自分や一族の幸せを願ったのではない。

戦乱に倒れた者のみならず、生きとし生けるもの全ての魂（冤霊）を救おうとした。

ここに自分だけの幸福を求めない、藤原氏の精神性の高さがある。

それは一切衆生を救済するという仏の願いにかなった考えである。

そして藤原氏は一人一人の心を浄らかにし、その心の中に仏国土を建設しようとした

人々に広大無辺な仏の慈悲を示すために、多くの仏堂伽藍が造営された。

#### ・ユネスコ憲章前文（一部）

『戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。』

一人一人の心の中に浄土を築く

## 浄土庭園

### ◆日本庭園

日本の庭園は、海外の文化を巧みに取り入れながらも独自の多様な形式を生み出してきた。日本庭園は、自然の風景に学びそれをモチーフにしてさまざまなデザインで表現してきた。日本庭園は、自然をそのまま表現するのではなく地形に合わせ象徴的にデザインする点に特徴がある。また自然の景観や神仙の世界、浄土の世界などを縮景させて修景してきた。

### ◆日本庭園の歴史

#### 飛鳥奈良時代

中国や朝鮮半島の影響が強く、思想的にも歴史的にも、大陸より移入された道教や仏教思想の影響を大きく受けながら発展した。

奈良時代に曲池・洲浜・石組・景石を構成要素とする日本庭園の池庭の様式がほぼ確立する。

#### 平安時代（寝殿造庭園、浄土庭園）

寝殿造庭園に、仏教文化のかかわりとして浄土思想が大きな影響をおよぼし、浄土庭園という新しい庭園意匠が完成して、中世の庭園文化をより豊かなものへと築き上げていった。

#### 鎌倉時代

禅文化の影響を受け、日本独自の水墨画のような枯山水庭園にまで発展していった。

#### 桃山時代

茶の湯の発達により、茶庭（露地）という新たな庭園意匠が出現した。

#### 江戸時代

これまでに創られてきた庭園様式が大名庭園というかたちで花開き、総合的な庭園文化へと発展していった。池泉回遊式庭園

### ◆寝殿造庭園（平安時代中期が全盛期）

寝殿造は平安時代に完成された皇族や貴族の住宅様式。三位以上の上級貴族の典型的な寝殿造は、周囲に築地塀をめぐらした1町（121m）四方の敷地に、南面する寝殿を中心として東西の対屋、それを結ぶ渡殿、対屋から南にのびる中門廊、そして釣殿・泉殿などの建物を配置された。それらにかこまれて寝殿南に広場を置き、その南に池を設け、池への導水は北東方からの遣水による。池には中島を置き、島には反橋や平橋が架けられた。

### ◆作庭記（前栽秘抄）

日本最古の作庭書。寝殿造系庭園の作庭書

平等院を造った藤原頼通の子、橘俊綱が若いときから見聞きしたこと、自分の庭造りの経験、当時の口伝・秘伝書を集成・編纂したもの

寝殿造系庭園の形態と意匠に関して、全体の地割、池と中島、滝、遣水、立石、作泉、前栽と

細分して、理論から施行までを詳細に解説したもの。

◇ 大旨（作庭の指針）……現代語訳：森蘊著「作庭記の世界」より

「石をたてん事まづ大旨をこころうべき也」  
石を立てるに際しては、まずおおよその趣意を心得ておく必要がある。

「地形により池のすかたにしたかひてよれくる所々に風情をめぐらして生得の山水をおもはへてその所々はここそありしかと思ひよせよせたつへきなり」  
地形により池の恰好に従って、よって生ずる所々に趣向をめぐらして、自然の風景を思い出して、あそこはこうであった、ここはどうであったなどと、思い合わせて立てるべきである。

「むかしの上手のたておきたるありさまをあととして家主の意趣を心にかけて我風情をめぐらして志てたつへき也」  
昔の名人が造って置いた有様を模範として、家主の意見を心に置いて、それに自分の風情をめぐらして立つべきである。

「国々の名所をおもひめぐらしておもしろき所々をわかものになしておほすかたをそのところになすらえてやはらけたつへき也」  
国々の名所を思いめぐらして、その面白い所々を自分の考えに取り込んで、大体の姿をその所々になぞらえて、素直に立てるべきである。

#### ◆浄土庭園（主に平安時代末期に造営）

浄土式庭園ともいい、庭園の分類の一つである。仏堂と園池とを一体的に築造した仏寺の庭園様式である。中国にも韓国にもない独特の庭園様式

- ・ 日本庭園は自然の風景をさまざまな意匠で演出するところに特徴がある
- ・ 本格的な日本庭園は平安時代中期から作られた寝殿造り庭園にはじまる。
- ・ 寝殿づくり庭園から浄土庭園へと発達する。
- ・ 現在寝殿造庭園は遺っていない。従って浄土庭園は日本庭園の原形というべきものである。
- ・ 毛越寺庭園……作庭記（別名：前栽秘抄 日本最古の作庭書。寝殿造系庭園の作庭書）に基づいて作られた庭園

#### ・ 法華寺阿弥陀浄土院庭園遺構（奈良時代）

天平宝字5年（761）、聖武天皇妃であった光明皇太后の一周忌齋会に造営された寺院。浄土庭園の初例。

#### ・ 法成寺庭園（平安時代中期）……現存しない

藤原道長が、自己の極楽往生を願って造営した。九品往生に対応する九体阿弥陀堂があった。

- 平等院庭園（平安時代中期）  
藤原道長の長子、藤原頼通が、末法の初年である永承7年（1052）に建立。
- 法勝寺（平安時代末期）………現存しない  
白河天皇が、承暦元年（1077）に造営。六勝寺のなかで最も大きく奇抜であった。
- 法金剛院庭園（平安時代末期）  
大治4年（1129）、鳥羽上皇の中宮待賢門院璋子が建立。往時の池の大半は埋められて市街地化している。
- 浄瑠璃寺庭園（平安時代末期）  
嘉承2年（1107）九体阿弥陀堂建立。庭園は久安6年に整備された。
- 白水阿弥陀堂庭園（平安時代末期）  
永暦元年（1160）、藤原秀衡の妹徳姫（磐城則道妻）が建立。
- 永福寺（鎌倉時代）………現存しない  
文治5年（1189）源頼朝が、平泉の寺院の荘厳さに魅せられ、合戦の犠牲者の鎮魂のために建立。

#### 毛越寺庭園の特徴

##### \*大泉ヶ池

海として造られていて岸辺に州浜、荒磯など海浜の姿が表現されている。

##### \*遣 水

河川を表現していて、谷川の急流や平野を蛇行しながらゆったりの流れの様が描かれている。

##### \*塔 山

山は神聖な場所であり、庭園の背景に山を置くのが平泉の庭園の特徴である。

#### 庭園における顕著な普遍的価値の証明

浄土庭園と呼ばれているが、これは経典に説かれている仏の世界（浄土）をそのまま現実の世界に表現した庭園ではない。例えば経典では池は四角い形（方池）だが、実際の池は曲線で描かれたような形（曲池）をしている。この違いには古くから日本人が抱いていた自然観が影響している。日本人は自然を畏怖し尊び、自然に神聖なものを感じていた。作庭においても自然に学び、その景観のエッセンスを石組などのデザインに活かそうとした。浄土庭園は、仏の世界（仏堂伽藍）を自然の景観をもって荘厳するという日本的な考えで造営されている。そして平泉の浄土庭園のもう一つの特徴は、伽藍の背景に聖なる山があるということである。毛越寺庭園の塔山、無量光院庭園の金鶏山がそれである。そこには伽藍、池庭、山の三者が一体となって形成された仏の世界がある。

このような庭園は世界に類例がなく、中国大陸や朝鮮半島から入ってきた庭園文化の日本的な発展形式といわれている。このことによって文化遺産の評価基準の（ii）「人類の価値観の重要な交流を示している」に該当することが証明された。

#### 世界遺産に登録された意義

- ・ 蝦夷といわれ、ときには蔑まれてきた東北の歴史遺産が、世界的レベルで評価されたこと
- ・ 奈良や京都と違う文化的伝統が平泉にあり、遺されている文化財が他に類例のないものとして認められたこと
- ・ 平泉の浄土思想が、平和を希求する人類の願いに合致し普遍性を持っていると認められたこと

#### （課題）

- ・ 平泉の心というべき浄土思想（平和思想）をどのように発信して行くか
- ・ 有形の文化財の護持は勿論のこと、無形の祭礼行事などをどう後世に伝えて行くか
- ・ 世界遺産がまちづくりなど地域の発展にどう活用されていくか

## 文化財を護り伝える

千年護り伝えてきたものをこれから更に千年護り伝えることは、至難のことである。

### 必要なことは

法灯護持（法……仏教の教え）

伝統的な祭礼行事の伝承

堂舎や庭園など形ある文化財を保存する為には宗教的伝統を理解し、その信仰を護っていかなければならない。

人材育成

伝統を伝承する人、祭礼行事を担う人、文化財を調査研究する人、文化財を修理整備をする人様々な人材を育てなければならない。

多くの方々のご理解とご支援

文化財の護持には関係者だけでなく地元をはじめ多くの方々のご理解とご支援がなければ、100年200年と護り伝えて行くことはできない。